

2026 年 7 月 20 日

「使命を生きる」

●ルカ 10：1～12

今日の聖書の箇所は、イエスが 72 人を派遣されるという有名なエピソードについて語られている箇所です。イエスのそばには、12 人の側近弟子以外に、イエスに従いたいと思っている人々がたくさんいました。それらの人々にイエスは、「行きなさい。私があなた方を遣わす」（3 節 a）と言って、具体的に行動を指示されています。財布も袋も履物も持って行くなと言ひ、「またどこかの家にはいったら、まず、『この家に平和があるように』と言いなさい」（5 節）。また、「その町の病人をいやし、また『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい」（9 節）。まさに、非常に直接的に、神の国の到来についてつげ知らせる「使命」を、これらの人々に具体的に与えておられます。

このイエスの時代から今日に至るまで、世界中の至るところで、イエスの弟子でありたいと望む人々は絶えたことがありません。そして、その人々は、イエスから与えられた「使命」を忠実に生きようと努力されています。皆さんに関わるところで言うと、74 年前に、洛星中学高等学校は、カナダから、洛星ノートルダム女学院中学高等学校はアメリカから、宣教師、宣教女たち、いわゆるミSSIONナリーズによって建てられました。宣教師は、男性のミSSIONナリーの呼び名で、具体的は、神父、修道士と呼ばれ、宣教女は、シスターと呼ばれました。彼ら、学校を設立するために、未知なる東方の最果ての国「日本」に派遣された方々だったのです。彼らは、「神様の愛を告げ知らせるために学校を建てる」という具体的な使命を帯びて来日されたわけです。皆一緒に、修道院と呼ばれるところで共同生活をし、私有財産は持たず、神様との約束として一生独身を貫き、イエスに従って清く貧しく生活することを目指す人々です。皆さんは、その方々な高潔な意志で建てられた学校で、現在学んでいる、いわば最先端を生きる人々だということです。ということは、皆さんにも、具体的な使命が与えられていると私は思っています。神父様やシスターたちが使命をもって建て、発展させていかれた学校、いわゆるミSSIONスクールに身を置いて毎日に暮らしている皆さん一人ひとりにも、神様は、現代の使命を託されている、ということを私は信じたいし、信じることができます。

もしも、皆さんが一人で静かに過ごしている時、聖堂や、自分の部屋、あるいは、旅先や帰宅途中でもよい、ふと、自分の胸に沸き起こってくる望みがあつたとして、自分はこういう人間でありたい、自分はこんなふうに人の役に立ちたい、いつかはこういうところに行つて、こんなふうに働いてみたい、という願いが沸き起こってきたとしたら、そしてそれが、たとえどんな苦勞があつても引き受けてみたいと思える時、誰かを元気づけたり、勇気づけたり、誰かの役に立つことであればなおさらのこと、それは、神様からの大切なメッセージなのかもしれません。そのメッセージをよく紐解いてもれば、そこにはあなたにしか行えないミSSION、「使命」が隠されているかもしれません。「使命」は、夢であり、志しであ

り、あなたの人生において、あなたにしかできないことなのです。

大それた、大げさなものでなくてもよいのです。小さなことの中に神様のメッセージが見つかるかも知れない。今日、クラスメートのだれかが、元気がなかったな。どういう言葉をかけてあげたら元気になるだろうか？と思いを巡らせる。家族のだれかが疲れているようだ、私にできることは何かあるだろうか。あるいは、自分の夢や志しのために行きたい進学先があり、どうしたらそこに近づけるだろうか。それらはすべて、自分の「使命」について考えることなのです。「使命」すなわち「ミッション」、「志し」、「夢」と言い換えてもよい。それらは、小さなことから大きなことまであります。むしろ小さな志しに忠実でなければ、大きな志しは成し遂げることはできないでしょう。小さな日々の生活の中で湧き上がってくる志しを丁寧に生きていけば、やがてはあなたに、もっと大きなミッションが降りてくる、私はそう思います。それはかつて、外国へ、しかも想像もつかない東洋の最果てといわれた日本という国に、勇敢にもやってきて、学校を設立するために奮闘努力し成し遂げた、という大きなミッションが実現された神父様、修道士方、やシスター方のように、皆さんにも、天国に帰る時まで成し遂げるべき仕事、ミッションが必ずあるはずです。それを探し出し、それを成し遂げる日まで努力してください。それが本当に神様からのものであれば、必ずその仕事のために、助けを与えてくださいます。

今日の皆さんの小さな志しは何ですか？それは、小さいように見えて、その川の流れが大きな海にやがてはつながっていくように、大きな一つの「使命」にきっと結び合わさっています。それを信じる心で、毎日を丁寧に暮らしていきたいと思います。